

# 2021ZENKOin 大阪 第13分科会

## ミャンマーODA を問い、 ODA 廃止を目指す



2月1日のミャンマー(ビルマ)軍によるクーデター勃発から、6ヵ月が過ぎようとしていますが、現在もなお昨年11月の連邦議会総選挙で勝利した国民民主連盟(NLD)のアウンサンスーチー議長・国家顧問、ウィンミン連邦共和国大統領ら政府指導者の拘束が続いています。これに対して、ミャンマー全土で多くの人々が抵抗していますが、国軍が全権を掌握した国家行政評議会による軍政は、一般市民への実弾射撃、殴打、拘束、辺境の少数民族集団への空爆など過酷な暴力的弾圧を続けています。

世界銀行やアジア開発銀行などの国際機関や欧米諸国が援助停止や経済制裁を課すなど、ミャンマー軍政に対する国際的な批判が高まる中で、日本政府は、「民間人への暴力の即時停止・拘束者の解放・民主的政治体制の早期回復を求める」(4/13 外相記者会見)としながらも、制裁については明言を避け続けています。ミャンマー最大の援助国である日本がそのODAの停止すら明言しないのは、民政移行後に「ODA事業」を使って、こぞって「アジア最後のフロンティア」ミャンマーに進出した日本企業が一時的な撤退から再度の進出、権益確保の機会をうかがっているからに他なりません。

ミャンマーODAは、日本のODAの本質を改めて浮かび上がらせました。「国軍系企業を潤わせるODAは反対」と限定的な規定ではなく、ODAそのものが持つ問題に焦点を当て、その「廃止」を求める必要があります。

2021ZENKO in 大阪、第13分科会では、1990年代から日本において民主化運動を継続し、2015年の民主化後にミャンマー(ビルマ)に帰国。今年2月のクーデター後に再度日本に戻られたティンウィンさんをお招きして、そのための討議を行います。ご参加(リモート参加も可能)をお願いします。

ヤンゴン-マンダレー鉄道整備事業  
日本の **ODA2,600** 億円(借款)が投入

### 2021ZENKOin 大阪 第13分科会 「ミャンマーODAを問い、ODA 廃止を目指す」

- 日時: 7月25日(日)  
9:30~12:00
- 会場: エルおおさか研修室1
- 内容
  - ① 基調報告
  - ② 特別報告1「ミャンマーODAについて」
  - ③ 特別報告2「ODA廃止を目指す」
- ティンウィンさん(ミャンマーの民主化運動家)からの特別報告
- 当日参加費: 一般 1,200円  
学生、障がい者、非正規職、無職 700円